船越小だより

学校だより第３１号
南城市立船越小学校
令和８年　３月２日

「　ありがとうの春、はじまりの春　」

船越小にも日に日に春の光が差し込み、一年の終わりを感じる季節となりました。この一年、子どもたちは学習に運動に本当によく頑張りました。できなかったことに挑戦し、友達と励まし合い、少しずつ自信を重ねてきました。その姿は、何よりも大きな成長の証です。

６年生はいよいよ卒業です。委員会や行事で見せてくれた頼もしい姿は、下級生のあこがれでした。新しい世界でも、自分らしく歩んでくれることを願っています。在校生も、４月からは一つ上の学年になります。６年生から受け取ったバトンを胸に、それぞれの目標へ向かって進んでほしいと思います。

創立８０周年の取組も、皆様のご協力のおかげで実りあるものとなりました。学校の歴史を振り返りながら、地域とともに歩む大切さを改めて感じる一年でした。心より御礼申し上げます。また、日々の教育活動を支えてくださった保護者の皆様、温かく見守ってくださった地域の皆様のおかげで子どもたちは安心して学び、力を伸ばすことができました。家庭と学校、地域が手を取り合う姿こそ、本校の大きな財産です。これからも子どもたちの小さな変化や成長をともに喜び合える関係を大切にしていきたいと思います。

春は終わりであると同時に、新しい始まりでもあります。令和７年度も残りわずかですが、これからも子どもたちの笑顔があふれる船越小学校を、保護者・地域の皆様とともにつくっていきたいと思います。

表彰朝会

今年度最後の表彰朝会を２月２７日（金）にオンラインで行いました。校内トリムマラソン大会、対外スポーツ面・文化面それぞれにおいて、優秀な成績をおさめたふなっこの伝達表彰を行いました。名前やチーム名が呼ばれると、少し緊張しながらも堂々と前に立つ姿がとても印象的でした。その表情からは、これまでの努力や積み重ねてきた時間の重みが感じられました。毎回感じることは、受賞は決して一日で得られたものではありません。放課後や休日にも練習を重ねたり、自分の課題と向き合い続けたりする中で培われた成果です。また、友だちと励まし合い、家族や指導者に支えられながら挑戦を続けてきたからこその結果でもあります。教室からは、大きな拍手が送られました。その拍手には、「すごいね」という称賛だけでなく、「自分も頑張ってみよう」という前向きな気持ちも込められていたように感じます。友だちの努力を認め合い、共に喜ぶことができる姿にも本校の良さを感じました。